

## 平成13年度 マイクロ波委員会活動報告

平成 14年4月17日  
JARLマイクロ波委員会

マイクロウェーブ帯の活性化のひとつとして、マイクロウェーブコンテストのJARL主催についてマイクロ波愛好家の方からご協力をいただき、コンテスト委員会に対して提案を行った。結果はJARL NEWS(2002年1・2合併号)で発表の通り、従来のコンテストの枠で実施とった。

また、5月に「2001年版 マイクロウェーブ局名録」(個人:513局、団体:48)を作成し頒布(掲載局には配布)した。

### 【活動の概要】

#### 1) 活性化のためのコンテスト実施に関して

5月の富山総会でJARLに対して7K4NWW(釘宮)の要望に続いて規約のすり合わせについて、何回かのmailのやり取りがコンテスト委員会委員長(JA3ATJ 坂井委員長)とJA0BQU阿部とで行われた。

9月のハムフェア会場でマイクロウェーブコンテストの実施について、コンテスト委員長とJG1QGF(種村)、JH1UGF(楨岡)、7K4NWW(釘宮)とJA0BQU(阿部)、JARL事務局2名により話し合いがもたれた。

この会合では、マイクロウェーブコンテストをJARL主催で実施すべく、お互いの意見を擦り合わせ、詳細は今後E-Mailなどでやり取りをしていくことが確認された。

マイクロ波委員会メーリングリストで最大公約数の「規約案」を作成した後、10月初めに、コンテスト委員会に事務局を通して提案を行った。

11月末に規約案に不十分な箇所があるとの連絡を受けた。マイクロ波委員会としてはコンテストの詳細事項を含む規約案を作成するのは困難と判断し細かい事項についてはコンテスト委員会に依頼したいとの連絡を12月初めに行った。

結果は、JARL NEWS 2002年1・2月合併号の通り従来のコンテスト規定の枠内での扱いとなった。

マイクロ波委員会としてはコンテスト委員会の発表には不本意の点もあるが、今後も実現に向けて検討を継続したい。

#### 2) 第1回マイクロ波委員会の開催

第1回の委員会を平成13年12月20日に開催し、先ず竹内専務理事よりマイクロ波委員会設置の主旨説明があり、引き続き議事に入り、「マイクロ波帯アマチュアバンドを取り巻く環境」について、現状の確認やマイクロ波帯活性化の方策について検討を行った。また、平成13年10月15日に開催された総務省の「電波の利用状況に関する調査研究会」のヒアリングでの会長の発言について、委員と竹内専務理事との間で質疑応答が行われた。

以上